



草の根

第42回

No. 14

新日本婦人の会 浜松支部
〒430-0907
浜松市中区上島3-33-6
TEL&fax 464-9881

**声をあげ、生きづらい社会を変える！安倍9条改憲ストップ、
ジェンダー平等と持続可能な世界を創立60年へ新婦人大きく**

つどう・つながる★次世代交流会part4が開されました！



2月つどうつながる次世代交流会part3に初めて参加して、「自分一人の意見でも、沢山の人の意見として堂々と出そう！」と決意しました。それから、入学おめでとうチラシの配布、要望書の提出に3回参加、月1回会員の皆さんと、公園で署名集めや、新婦人新聞の宣伝を始めました。

6月3日の交流会part4に参加して、これまで「周りの顔を伺ってしまい、当たり障りのない話しかできずに後悔」を繰り返していた自分が、この数か月で、少しはわきまえない女になってきた、成長しているなあと、嬉しい変化を感じました。

力になるのは、日頃、支部委員会で先輩がたと、日頃のモヤモヤについて語り合う「筋トレ」です。その次に街頭での活動。一番緊張して、エネルギーを使うのは、身近な地域の同世代の人たちに、あのね…と大事な(社会的・政治的な)話を切り出すことですが、5月末に娘の友達のお母さんたちに「中学の校則が気になる」と切り出して、結局6人のお母さんお父さんが集まってくれ、中学校での懇談が叶い、これからどんどん口火を切っていけそうです。

交流会ゲストの太田伊早子弁護士のお話しが忘れられません。太田さんがリズムを回って憲法のお話しをし続けてわか

ったこと＝「新婦人の会員さんの、子どもたちへの態度や、平和を大切にしたいという新聞の内容などから、新婦人は(私たちが思っている以上に)信頼されている。」「誰も、自分の子だけ良ければいいという人はいなかった」「若いお母さんたちも、みんな子どもたち皆への愛にあふれていて、誠実に応えてくれた」「だから圧倒的なリソース(資源)を持つ政治から目をそらしてはいけない。勇気を出して話していかなければ」という言葉に、大きな励ましを感じ、涙が出ました。

これからも、自分が大切だと思うことを、できるだけ空気を読まずに、話してみようと思います。要望書提出を継続し「私こんな活動してるんです」と語っていきます。40歳過ぎて、自分がやっと真の姿を現し始めたような、清々しい気分です。まだまだ「伝わるように簡潔に話す」は全く発展途上で、皆さんの発言に惚れ惚れし、自分については反省しきりですが、筋トレを継続していきます。

子どもと教育部 田中友子



お知らせ

6月15日県本部主催の産直学習交流会が開催されました。支部から参加した部員の感想をお届けします。

産直学習交流会に参加して

産直部 久米恵子



最近では家族が減り、お米を注文する人が減っていると聞きました。野菜を夏場は高温で傷むので利用者は減っているそうです。野菜は生協のように発砲スティロール箱へ入れることは出来ないものかと思っています。大きな野菜を半分に切っていると、切り口から傷み易いので切らずにいただきたいです。安全で美味しい産直物を今後もいただくためにこの産直システムがずっと続くことを願っています。そのためにこれ以上会員が減らないように皆で対策を考えあっていくことが必要だと痛感した集会でした。

ミニミニフェスタ & 体験会 9月5日(日) 労働会館全館

今年は全国大会の年です。

コロナ禍のなかですが、工夫をこらして、各班から展示や手作り小物の販売、「野の花のアレンジメント」「ヨガ」「ちぎり絵」などの体験会。フルートの演奏など楽しい会を企画中。

「こんなことしたい」などありましたら事務局までお寄せください。詳細は次号でお知らせします

ゲストを誘って仲間を増やす場所にしましょう。



毎月核サイン署名に取り組み様々な取り組みをしている平和部を紹介します。



<当面やること>

- ・日本政府に核兵器禁止条約に署名批准を求める署名を集める
- ・浜松市に国に核兵器禁止条約への参加を求める意見書提出を要請する
- ・自衛隊員募集問題で浜松市に申し入れをする

<部員紹介>

☆南莊悦子さん
平和のしおり製作者、もう何枚作って手渡したことが・・・その努力が核兵器禁止条約批准に結実したね！

☆三善裕美子さん
ニューヨークにも行った平和の志士！！

☆鈴木治子さん
3人がいてくれるのでオロオロしながら何とか平和部を務めています

☆宮崎育子さん
原水協会議、九条会議に参加しています。

- ・平和の波8月6日9日行動への取り組み。ただいま部員は4名です。やることいっぱい！！
- ・「素敵な憲法は変えないよね」意見広告ポスターに取り組みます。部員募集中！！

しまの花だより

すみれ班 近藤しま
今年はずいぶんよく見かけました。芝生などと共生しないと育ってくれないモジズリです。みなさんにも野の花との多くの思い出があるのでは。じゃま者とせず、子ども達や自然に役立つものとして楽しむ土壌ができればいいな。草取りではなく草刈りで庭の手入れはいかがでしょうか。新しい発見があるのではとお勧めします。7月の花はミソハギ、クサボタン、桔梗、ノーゼンカズラ、朝顔、ひまわりかな。私の好きな7月の花はカワラナデシコ、コマツヨイグサです。

— 四季の薬膳 夏編 —

あざれあ班 青野

一年で一番暑く湿気が多い夏、「薬膳料理」では、体の暑さ・湿気を取るような献立をその季節の食材の力を利用して作っていきます。熱が籠った体を涼しく、冷やす夏野菜を主な食材として、体内の気を回してバランス調整するものも組み合わせしていきます。内臓は冷やし過ぎないように温める事にも注意します。そんな夏にピッタリな、手軽にできる一品です。おためし下さい。

＃ トウモロコシと冬瓜のスープ

トウモロコシ⇒性味：甘平 帰経：脾肝腎 効能：補中健脾

トウモロコシの髭⇒利尿利胆薬

冬瓜⇒性味：甘淡微寒 帰経：肺膀胱大小腸 効能：清熱止渴 利水消腫

【材料6人分】

材料名	分量
トウモロコシ	2本
冬瓜	300g
人参	120g
オクラ	6本
干し貝柱 or 貝柱缶詰	12g or 小1缶
生姜みじん切り	大匙1
ガラスープの素	大匙2
塩・胡椒	各少々
水	1000cc

【作り方】

- ① 干し貝柱はぬるま湯に浸けて3時間以上おく。(缶詰なら汁ごとほぐす)
 - ② トウモロコシは皮をむき、1本を6等分する。髭は、茶色の部分を切り取り、軟らかい部分を素揚げしておく。
 - ③ 冬瓜は皮むき種取りして1口大の角切り、人参も乱切りする。
 - ④ オクラはヘタをそいで塩もみして洗い1/2に斜め切り。
 - ⑤ 鍋に分量の水と貝柱の戻し汁を入れ煮立ったらスープの素を入れ、オクラ以外の野菜を入れ再度煮立ったら、アクを取り弱火で煮込む。
 - ⑥ 野菜が煮えたら、オクラを入れ塩・胡椒で味を調える。
- *トウモロコシは芯も煮込むことで味が深まります。
*トウモロコシの本体と髭は効用が異なるので注目です。

班だより



かすみ草班

田中みよ子

毎月第4金曜日の13時半から班会を開いています。

今回は、26日付の新婦人新聞の「スマホ+タブレットで脳の発達に影響は？」のところで話が弾みました。

読めない文字・かけない文字を探す時に、スマホを使うことがあるけどすぐに忘れてしまう。そんな経験ありませんか？研究によると辞書で調べる方が血流量が高いそうです。さすが読書の好きな人、メモを取る人の言葉ですが、辞書で引くと覚えているので常にそばに置いているそうです。私も心がけようと思います。

皆さんも、もう一度このコーナーに目を向けてみませんか？

今、かすみ草班では大人の塗り絵に挑戦中です。



班会で塗り絵した作品を持って...

—

—